

VI 広島市観光施策の概要

1 目的

「活力にあふれにぎわいのあるまち」の実現に向け、即効性のあるにぎわいを誘導するため、広島ならではの「おもてなし」を基本姿勢にすえ、ヒロシマという世界的な知名度や世界遺産、歴史を伝える魅力的な資源、豊かな自然をテコとしつつ、訪れた人に「また来てみたい」、「住んでみたい」と感じてもらえるよう、まち全体として「観光起こし」を推進します。

2 平成31年度の主な事業

(1) 都市のにぎわいづくりの推進

ア 観光イベントの実施

(ア) ひろしまフラワーフェスティバル

2019ひろしまフラワーフェスティバルを5月3日から5日までの3日間、「花ひらく 夢と平和の 新時代」をテーマに開催しました。今年は、東京オリンピックの正式種目となった3人制バスケットボールやBMX競技のデモンストレーションの実施などにより、来場者数が前年度を上回る結果となり、中心部のにぎわいを創出しました。

(イ) ゆかたできん祭（さい）

夏の風物詩である「ゆかた」をテーマとする「ゆかたできん祭」を6月7日から9日までの3日間開催しました。メイン会場となる中央通りを2日間歩行者天国とし、ゆかたファッションショーや踊りなどのイベントを実施するとともに、袋町公園で飲食ブースを展開しました。昨年に引き続き、三原市の「三原やっさ踊り」が参加し、本場の踊りで盛り上がるなど、中心部での夜のにぎわいを創出しました。

(ウ) 広島みなと 夢 花火大会

広島港を舞台に「広島みなと 夢 花火大会」を7月27日に開催しました。「夢」をコンセプトに花火ミュージアムとして約1万発の花火を打ち上げ、夏の夜のにぎわいを創出しました。

(エ) ひろしまライトアップ事業

広島の冬を代表する観光イベント「ひろしまドリミネーション」を平和大通りを始め市内中心部において、11月15日から1月3日までの間で実施し、「おとぎの国」をテーマに夜のにぎわいを創出します。

イ MICE^{※1}の推進

広島広域都市圏の市町と連携し、特別感や地域特性を演出するユニークベニュー^{※2}等の充実に向けた取組を進めるとともに、地元企業等とMICE参加者向けの交流プログラムであるテクニカルビジットの開発・運用に取り組みます。

また、引き続き、伝統芸能等の実演によるおもてなしや開催助成制度をはじめとする支援策を実施し、更なるMICEの誘致強化に取り組みます。

さらに、MICE誘致競争力の一層の強化を図るため、グローバルMICE都市にふさわしいMICE施設の整備に向けて、広島商工会議所からの提言等を踏まえ、商工センター地区の活性化に資するMICE施設整備の実現可能性を検討します。

- ※1 企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国内外の機関・団体、学会等が行う会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称のこと
- ※2 歴史的建造物、文化施設や公的空間等で、会議・レセプションを開催することで特別感や地域特性を演出できる会場のこと

(2) 観光プログラムの開発と推進

ア 広島城観光振興事業

広島城の観光資源としての魅力向上を図るため、広島城二の丸を拠点に活動する「安芸ひろしま武将隊」によるおもてなしやPR活動を行うとともに、広島城の堀を活用した遊覧船の運航を行います。

イ 広島神楽振興事業

神楽を広島の観光資源としてメニュー化するため、旧日本銀行広島支店において神楽の公演を行うとともに、湯来ロッジにおいて定期公演の実施や神楽衣装の展示等による「神楽の里」としての環境づくりを行います。

ウ 「食」による観光振興

広島ならではの特色ある「食」をテーマとし、飲食店が同じコンセプトで料理を提供する「瀬戸内かき海鮮食堂」や「広島てっぱんバル」を展開するなど、関係者が共同して広島広域都市圏の周遊企画等を行う観光キャンペーンに取り組みます。

エ ピースツーリズム推進事業

外国人旅行者等の市内での周遊を促進するため、平和記念公園等を起点とした市内の主要な平和関連施設などを巡るルート等の情報をWEBサイトで発信するとともに、新たに、ピースツーリズムの概要を掲載した英語版リーフレットを作成するなどのプロモーションに取り組みます。

オ 平和大通りのにぎわいづくり

本市のシンボル空間である平和大通りにおいて、年間を通じたにぎわいを創出するため、都市公園としてのPark-PFI制度の活用などを視野に入れた具体的な手法の検討を行います。

カ 修学旅行誘致事業

広島への修学旅行生の増加を図るため、市長等による首都圏の首長へのトップセールスや本市修学旅行誘致推進員等による全国の学校等に対する個別誘致活動に加え、県外の教員を対象とした平和学習講習会の開催や教育関係者の招へい事業等に取り組みます。特に、全国の中でも学校数・生徒数が多く、誘致活動の効果が期待できる関東地方※を対象に重点的な誘致活動を展開します。

※ 東京都、神奈川県、埼玉県、群馬県、栃木県、茨城県、千葉県

キ 映像コンテンツによるSNS活用プロモーション事業

観光客の誘致・宿泊促進を図るため、広島歴史や伝統芸能、豊かな食文化などについての魅力や素晴らしさを伝えるプロモーション映像を制作し、SNS等を活用して広く発信します。

(3) 来広者への「おもてなし」

ア 外国人旅行者の受入環境整備

(ア) Hiroshima Free Wi-Fi プロジェクト

外国人旅行者のニーズの高い無料公衆無線 LAN（名称：HIROSHIMA FREE Wi-Fi）について、民間事業者や広島広域都市圏の自治体と連携し、エリア拡大及び利用促進に取り組みます。

(イ) 外国人旅行者向け街角観光案内所「トラベルパル・インターナショナル」の設置・運営等

外国人旅行者が気軽に立ち寄れる市内の飲食店等を外国人旅行者向け街角観光案内所「トラベルパル・インターナショナル」として認定し、外国人旅行者が必要とする情報を街なかで気軽に入手しやすくすることにより、広島滞在時の利便性の向上を図ります。

また、市民団体が主体となり、JR広島駅に到着した外国人旅行者に対して、英語でのあいさつや簡単な道案内、観光案内などを実施するボランティアガイド活動を支援します。

イ 平和記念公園レストハウスの改修

国の名勝である平和記念公園内に存在する被爆建物である平和記念公園レストハウスの歴史的特性をいかし、被爆の実相を伝え、平和への思いを共有する場となるよう保存・活用を図るとともに、平和記念公園内の「おもてなし」を向上させるため、令和2年7月のリニューアルオープンに向けて改修工事等を行っています。

ウ 広島港総合案内所の設置

瀬戸内観光を目的に広島を訪れる観光客の「おもてなし」をより一層向上させるため、広島港に英語対応可能な職員を配置した総合案内所を設置しました。

エ 「水の都ひろしま」づくりの推進

平成31年3月に改定した「水の都ひろしま」推進計画（策定主体：水の都ひろしま推進協議会（市民団体、観光関連団体、学識経験者、国・県・市で構成））に基づいて、市民、事業者及び行政が協働し、各種取組（水辺づくりの推進、ネットワークの形成、水辺利用の推進）を進めます。

(ア) 水の都ひろしま推進協議会の運営

水の都ひろしま推進協議会において、次の事業を実施します。

a 水辺のコンサート

春・秋の土・日曜日など年 20 回程度、原爆ドーム対岸親水テラスでコンサートを開催します。

b 水辺のオープンカフェ

京橋川及び元安川の河岸緑地において、9 店舗のオープンカフェを展開しています。

(イ) 「川の駅」のにぎわいづくり

広島駅周辺の水辺が水の都を象徴する人が集まり活気あふれる空間となるよう、「川の駅」(ビッグフロントひろしま前の河岸緑地)において民間事業者が核となり、イベントや飲食販売等を実施するほか、水上交通との連携を図り、にぎわいを創出します。

(ウ) 水辺のライトアップ事業

歴史ある西国街道沿いの水辺の魅力を向上させるため、京橋川オープンカフェ周辺をモデル地区として、ライトアップするための工事を行います。

オ 湯来ロッジの整備

施設環境の改善を図るため、老朽化した大浴場の改修等を行います。

カ クルーズ客船の誘致

広島港に寄港するクルーズ客船に対するおもてなしの充実を図るため、国、県、市等により設置された「広島港客船誘致・おもてなし委員会」において、歓迎式典、シャトルバスの運行、観光案内などを実施するとともに、客船の誘致に向けたプロモーション活動を行います。

(4) 近隣市町等との連携による広島情報の発信

ア 瀬戸内 4 県都市連携海外プロモーション事業

「瀬戸内海」という共通の資源を持つ岡山市、高松市、松山市及び広島市への外国人観光客の周遊促進を図るため、4 市が共同で、瀬戸内地域への旅行者数が増加している香港で多くの読者を持つインフルエンサーを招へいし、4 市の魅力を SNS で発信します。

イ ビジット・ジャパン地方連携事業

本市への外国人観光客の着実な増加を図るため、国のビジット・ジャパン地方連携事業を活用し、県や観光関係団体、事業者等と連携した海外プロモーション活動やインバウンド商品化事業等に取り組めます。

平成 31 年度の対象国・地域：韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、オーストラリア、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ

ウ 広島広域都市圏観光振興事業

広島広域都市圏の市町が連携し、各地域の魅力を生かした観光振興に新たに取り組むこととし、「一島一景」展、西国街道の歴史ガイド連携に係る研修会、酒蔵ツーリズムのプレイベントを開催します。